

そのメロディに魅せられて♪

P3 「Rising Sun」  
〔EXILE BEST HITS -LOVE SIDE/  
SOUL SIDE-〕所収

P4 江戸川まいにんぐ  
「江戸川区がオリンピック会場に」

P4 スタッフのセレクション！  
「犬と、走る」

## 新しい雑誌が入りました！

篠崎図書館では、貸出の状況や皆様のニーズなどをもとに、毎年購入雑誌の見直しを行っています。今年度は下記8誌を新たに購入することになりました。ぜひご利用下さい。

### 『Hanako』



マガジンハウス  
隔週刊  
第2、4木曜日発売  
首都圏で活躍する女性向けに、人気のエリアやカフェ、インテリアなどの情報を紹介するライフスタイル誌。

### 『選択』



選択  
月刊  
毎月1日発売  
「国際問題」「国内政治・経済」「社会・文化」をテーマに、卓越した分析・解析を施す、情報の「量」より「質」を重視した総合情報誌。

### 『多聴多読マガジン』



コスモピア  
隔月刊  
奇数月6日発売  
英語の力を身につけようとする読者向けに、「たくさん聞いてたくさん読む」ための機会を提供する英語学習誌。

### 『歴史街道』



PHP研究所  
月刊  
毎月6日発売  
“現代からの視点”で日本や外国の歴史を取り上げ、今を生きる読者のために「活かせる歴史」「楽しい歴史」を提供している歴史雑誌。

### 『からだにいいこと』



祥伝社  
月刊  
毎月16日発売  
食、運動、ダイエット、スキンケアなど「からだにいい生活」に役立つ情報が満載。女性のキレイと健康、元気を支える健康生活情報誌。

### 『田舎暮らしの本』



宝島社  
月刊  
毎月3日発売  
田舎に家を構えたい読者向けの物件情報や、田舎での生き方など田舎暮らしを実現させるための情報誌。

### 『かぞくのじかん』



婦人之友社  
季刊  
3、6、9、12月の5日発売  
幼児から児童期の子どもをもつ読者向けに、「ワークライフバランス」「子育て」「教育」を主なテーマとして取り上げる育児雑誌。

### 『AERA with Kids』



朝日新聞出版  
季刊  
3、6、9、12月の5日発売  
子供の勉強方法や生活習慣、オススメ本の紹介など子育て中の読者向けにお役立ち情報満載の育児雑誌。

江戸川区にある雑誌は貸し出し開始前から予約できます。詳しくは図書館スタッフにおたずね下さい。



## ライブラシネマ篠崎

### 「西部の男」

1940年 アメリカ  
監督:ウィリアム・ワイラー  
出演:ゲイリー・クーパー  
ウォルター・ブレナン 他

7月3日(日)

14時開演(13時30分開場)  
場所:篠崎文化プラザ 講義室  
定員:50名(当日受付、先着順)

テキサスの無法地帯に君臨した名物判事ロイ・ビーン。彼と意気投合した流れ者のコールは、農場を焼き払った事件の黒幕が判事と知り……。判事役のウォルター・ブレナンが第13回アカデミー助演男優賞を獲った西部劇。

## 江戸川まいにんぐ 発掘 第48回 「江戸川区がオリンピック会場に」

江戸川区内のイベントやスポットについて、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

いよいよ4年後に迫った東京オリンピック。江戸川区内でも2020年7月、葛西臨海公園に隣接する都有地でカヌー(スラローム)競技が開催予定です。競技会場となる事を受けた体制作りとして、3つあった江戸川区のアマチュアカヌー団体が協力して『江戸川区カヌー協会』を設立。今後夏季の区民カヌー体験教室や学校カヌー教室を開くなどの活動が予定されています。

行政としても「オリンピック・パラリンピック競技大会 江戸川区推進プログラム」を策定。2020年以降の江戸川区の姿を見据えながら様々な取り組みを推進し、大会の成功を目指

しています。

今回のカヌー会場の施設整備により、国内初となる人工の競技施設が完成する模様です。前回の東京大会の前年の地図かみしじまを見てみると、まだ葛西臨海公園はなく(上蜷島)、東西線も開業前でした。それを考えるとこれからの4年、さらにオリンピック後の西葛西はどんな姿になっているのやら。今から楽しみですね。

ちなみに篠崎文化プラザでは9月11日まで企画展示「カヌーがまちにやってくる」を開催中です。ぜひご来場下さい。

参考資料 『東都よみうり』 2016年4月8日号6面  
『江戸川区ホームページ』 東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 江戸川区推進プログラム  
『全住宅精密図帳 江戸川区 昭和38年度版』 住宅協会地図部編集室編 1291セ 篠崎ほか所蔵

## スタッフのセレクション

篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

### 『犬と、走る』 本多 有香著 集英社インターナショナル 916ホ 中央ほか所蔵

この本を手取るきっかけはテレビのドキュメンタリーだった。著者であるカナダ在住のマッシャー(犬ぞり師)・本多有香さんがカナダ〜アラスカ間約1600キロの犬ぞりレースに挑み、見事完走する。二週間にわたり犬たちと山を越え、凍った川を渡る過酷なレース。冰雪で真っ白な世界の中では犬と人は黒い点にしか見えない。大自然の中で犬ぞりはあまりに小さい存在に見えたが、本多さんの犬に向けた優しい眼差しが印象的だった。

本書は彼女が半生をつづったものだ。学生時代に犬ぞりに魅せられ単身カナダへと渡った本多さんは、あの手この手でマッシャーを目指す。その目指しかたがとにかくハ

ンパではない。犬ぞりは経費がかさむために彼女はいつも金策に苦心しているのだが、稼ぎが低いからとオーストラリアのトマト畑へ飛んで行ったり、節約のために約1200キロの道のりをボロボロの自転車で移動したりと、破天荒なエピソードが淡々と披露される。その圧倒的な行動力には驚かされると同時に勇気ももらう。レース中に犬たちが走らなくなったからと彼女自身が先頭を走って山を越える場面では、いつの間にか本多さんを応援している自分に気がついた。“変わってるけどなんかすごい人”が好きな人、マンガ「動物のお医者さん」で犬ぞりの話を読んだことのある人にもオススメの一冊だ。

### 編集後記

最近、サウナにはまっています。サウナの後の水風呂は最高です(風雲ふわふわ丸)／初めてのことをするのは楽しいですね(ぱるめりん)／いろいろな人に支えられて日々を送りつつ、いずれ支える側になりたいとひそかに思っています(しろやぎ)／今号から紙面の一部の文字を大きくし、読みやすくしました(編集部一同)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館  
住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内  
TEL:03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ  
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>